

2021.11.25



財務・資金調達委員会

「喫茶去通信」は、私ども財務・資金調達委員会グループライン名です。
2021年7月、委員会の目的を共有し、「まあ お茶でも飲んで楽しく語り合いましょ
う～」を合言葉に委員会をスタートアップしました。

国際ソロプチミストは、

女性と女兒が「明るい未来への扉を開く」ために具体的な恩恵をもたらすことを使命
とし、今年で100年目を迎えました。

女性と女兒の生活の向上のための経済援助、また女子中高生が夢を拓くための教育支
援、そして今年度から志を持ちながら経済的理由で進学をあきらめざるを得ない高校
3年生女兒への進学援助、のプログラムを通じて中長期的な視点に立って支援をして
おります。

当委員会は、それらの活動のための資金調達を担当しています。しかし、この2年間は
パンデミックにより、対外的な歳入事業は自粛せざるを得ない状況です。当面は、オン
ラインと対面例会のハイブリッド式でのクラブ内バザーとしました。

感染対策ガイドライン遵守のもと、月々の季節を愛で、かつ味わう“わくわく”バザー、
その中で一番の人気は会員手作りの総菜です。それぞれの家庭の味は、またたく間に
Sold-Out します。

また、被災地支援として東日本(9年目)、熊本阿蘇(5年目)への支援、そして今年新
たに人吉球磨の特産品や2016年熊本地震で被災された農家さんの型が不揃いだけで美
味なさつまいもを共同購入。災害の記憶を風化させないことも支援の一つだと実感し
ます。

こうした収益は、「何のために」という会員25名の共有した認識があつての成果だと。
目的を同じくした仲間の力は心強く、毎回のご厚意に感謝することしきりです。

SI熊本-さくらは、2023年に認証30年を迎えます。

多岐化する資金調達手段に、今私たちは何を選択するか、どのように取り組むかを検討
する必要があるかと思えます。難しい問題ですが、案じるより生むが易し、でしょうか。

「女性と女兒のための扉」は、私たち自身の明日への扉でもあります。

共創の時代、これからも、長期的な持続力ある活動のために“さくらの輪”をより力強い
ものといたしましょう。

(紫垣)